

電力もデータの時代 データ蓄積を通じ、次なる可能性

2019年2月15日

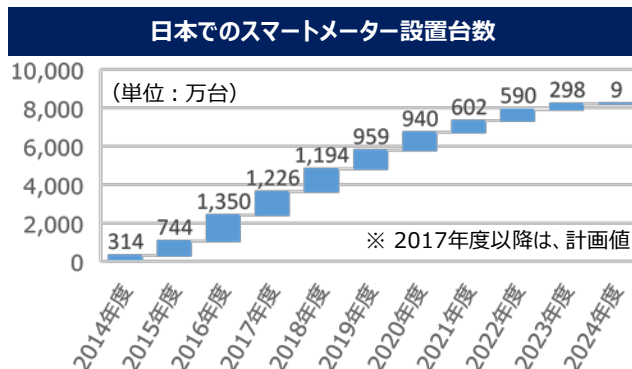
電力インフラが不可欠なデータセンター 電力インフラはデータセンターが不可欠に

電力インフラとデータセンター・インフラは相互補完を強める流れ

様々なデータを電子情報として大量に蓄積するデータセンターにとって、電力は最も重要なインフラのひとつです。近頃は、電力会社からの電力を利用する以外にも風力発電や太陽光発電設備を併設するデータセンターなども建設されています。その一方で、経済産業省に設置されている各種会議（総合資源エネルギー調査会や「Connected Industries」東京イニシアティブ2017、等）では、老朽化したインフラの保守・点検のためにドローンやセンサーを活用した画像診断、IoTやAIの技術を用いた電力設備の効率運営や新たなサービス事業の可能性等が活発に議論されており、データセンターを利用した大量のデータ活用の流れは、電力等の旧来のインフラにとっても重要性を増しています。

スマートメーターが一段と身近に

そんな中、電力インフラ分野で注目されているのがスマートメーターです。スマートメーターとは、電力使用量をデジタル計測し、通信機能を活用して計測データを電力会社のデータベース（データセンター）に送信する電力計測機器です。電力会社の計画では、2024年頃までに約8,000万台の設置が見込まれています。



(出所) 資源エネルギー庁資料「電力分野におけるデジタル化について」(2018年5月18日)を基にパインブリッジ・インベストメンツが作成

スマートメーターのデータを活用した様々なサービス可能性を模索

スマートメーターの普及により、電力使用に関連した様々なデータが急速に蓄積されていきますが、そのデータを活用した様々なサービスも模索されつつあります。直接的には、発電所の運転制御効率向上により、地球温暖化対策につながる事が期待されます。電力使用状況パターン把握による高齢者見守りサービスや人手不足の中再配達に頭を抱える宅配便の宅配効率向上なども考えられています。

電力インフラとデータセンター・インフラの相互補完により、より生活し易い社会につながっていくことが期待されます。

スマートメーター活用イメージ



上記イラスト等はイメージです。



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。
左記QRコードもしくは (https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech_infra.html) からご覧ください。
左記QRコードが読み取れない場合は、2ページ目に拡大したQRコードを載せていますので、ご利用ください。



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。
左記QRコードもしくは (https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech_infra.html) からご覧ください。

ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会